

東濃中部病院事務組合規約（案）に対する意見に分類できない意見と市の回答

【 東濃中部病院事務組合規約(案)についてパブリックコメント募集 】

1. 募集期間： 令和3年1月4日(月) ～ 令和3年2月1日(月) 29日間
2. 閲覧場所： 土岐市ホームページ、市役所政策推進課窓口、各支所窓口、保健センター、土岐市立総合病院窓口
3. いただいたご意見の総数： 12件（7名）

組合規約(案)に対する意見に分類できないご意見について、下記のとおり回答いたします。

No.	組合規約(案)に対する意見に分類できないご意見	市の回答
一病院化の必要性について		
1	東濃中部病院事務組合は土岐市立総合病院と東濃厚生病院の統合を前提に計画されていますが、今一度統合を見直してほしいと思います。 理由の一つは瑞浪市民の多くが現在の総合病院としての役割を持つ東濃厚生病院が市内からなくなることに猛反対していることです。瑞浪市民にしてみれば地元で総合病院があってほしいと思うのは当然の事と思います。 もう一つの理由はコロナウイルス感染流行の中、病床確保と医療従事者確保は喫緊の課題だと思います。今はこのことに市政の力を注ぐべきです。今後感染が爆発して医療崩壊が起きないとも限りません。この二つの病院は公立公的病院でコロナ対応の病院として十分にその役目を果たしてほしいと思います。今から準備しておかないとだめだと思います。よろしくお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の人口減少に伴う医療需要の減少や医師不足による医師確保の困難などを背景に、医療需要に見合った病床規模を実現し、地域にとって必要十分な医療提供体制を構築する必要が生じたことから平成28年より検討してきました。 ・新たな課題となる感染症対策について、今後策定される新病院の基本構想に盛り込むべき要素と考えます。
2	「1病院化」方針の策定後に生じた新型コロナウイルス感染拡大下での医療体制危機にも鑑み、「1病院化」自体の再検討が求められます。	
3	非常時の今こそ、国や県の意向だけでなく地方自治の本旨である住民福祉の向上を図る立場から、地域住民の命と健康を守る医療提供体制のあり方について再検討と市民への十分な情報提供をお願いします。	
4	二病院間で改修整備を含め機能分担をし、充実を図るべきだと思います。	
5	新型コロナ感染症が蔓延している現在、二つの病院を機能的に運営した方が良い。	
6	コロナ拡大状況の中、病院のあり方が問われている時に数年前からの国の政策のまま進行して良いのか。今、自治体として立ち止まって考え直す時ではないでしょうか？	

No.	組合規約(案)に対する意見に分類できないご意見	市の回答
候補地の選定		
1	候補地の是非についてですが、周辺施設の環境や位置関係、そして交通状況について調査不足です。多治見市では、民営と官営の病院が近くに隣接して位置しており、隣接する道路は非常に混み合う状況となっています。ここでは2市分の緊急医療、外来診療を見込まれることから、より交通状況に左右されにくい場所を考慮するのが望ましいです。この候補地についても、現状の時間帯別の混雑状況と建設時のシミュレーションを比較検討すべきです。特にここは近隣にスーパーやドラッグストア、土岐市庁舎があることから、周辺住民の非常に重要な生活道路となっています。候補地の様々な要素を考慮して、正しく評価してください。	<p>・令和2年度一部事務組合設立準備会での検討において、委託した専門業者からの調査結果を踏まえ、土岐市肥田町地内を候補地としております</p> <p>・選定にあたっては、規模面積、土地利用状況、法規制及び災害履歴等を十分考慮して選定しております。</p>
医療従事者の確保		
1	一元化で医師、看護師は確実に確保できるのでしょうか？	<p>・働きやすい環境に配慮した魅力ある新病院を整備することで、医師、看護師等の医療従事者の確保を見込んでいます。</p>
2	病院統合で医師、看護師、医療従事者が集まるのか疑問に思います。	
交通の利便性		
1	高齢につき交通の便をお願いします。	<p>・接続する新道路の整備及び患者搬送に支障が出ないよう周辺の交通状況に関しても配慮し、整備いたします。</p> <p>・高齢者等交通弱者の観点からアクセスや利便性について考慮してまいります。</p>